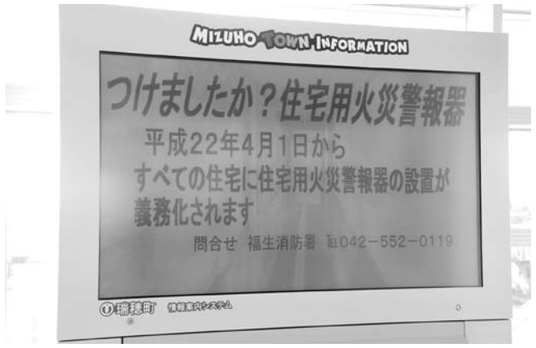
# 住宅用防災機器の設置施策を問う

竹嶋　久雄　議員（自民）

**町長**　広報活動を強化していく

**質問**　町では、住民の生命、身体および財産を災害から保護することを目的とした地域防災計画を基に、各施策に取り組んでいるが、防災体制の確立は充分とはいえず、火災に対する警報設備の充実が求められている。平成22年4月より既存の住宅にも火災警報器の設置が義務付けとなる。被害を最小限に食い止め、住民の財産・生命を守るために、町として、この事業の普及推進に指導や新たな施策を考えるべきと思うが、町長の所見を伺う。




駅大型ディスプレイでの広報

**町長**　住宅用火災警報器は、火災から住民の生命・身体・財産を守る大変有効な機器であり、広報みずほや防災訓練、箱根ケ崎駅東西自由通路の大型ディスプレイで設置を呼びかけてきた。21年度からは、高齢者世帯、障がい者世帯に対し、購入費用または、購入費用および取り付け費用を補助し、普及促進に努めている。

今後とも、広報活動を強化し、都条例の実効性を確保するための施策を都に求め、連携していく。

# 安心して子育てが出来る町づくりを目指して

近藤　浩　議員（改革）

**町長**　待機児の減少に努めている

**質問**　少子化対策が叫ばれるようになり久しいが、様々な面で子育てがしにくい社会であると感じる。

新政権でも子育て支援策に力を入れており、町でも様々な努力があると思うが、さらに安心して子育てができる町を目指し、次の点を伺う。

**問①**　待機児対策と保育料の軽減について。

**町長**　現在、新規の認可保育所の相談を受けており、新たな保育園が開設されれば、待機児を解消できると期待している。町長就任3期目にあたり、第2子以降の保護者負担軽減策の検討に入ったが、新政権は子ども手当てを創設するとの事から、今後の動向を見極め対処する。

**問②**　子ども家庭行政の一元的取り組みを。

**町長**　部制導入により、各種施策の連携を強化している。今後、子育て施策の一元化の取り組みを研究しなくてはならないと考えている。

園庭で遊ぶ園児（狭山保育園）

**こんな質問もありました**

**平和事業を先進的に取り組むべきでは。**

**町長**　事業を継続し、市民レベルの国際交流が恒久平和の維持につながることに期待。



# 都市計画道路の見直しは必要ないか

谷　四男美　議員（住民）

**町長**　計画実現に向け努力していく

**質問**　町内の骨格的道路としての都市計画道路も16号バイパスの開通など、道路環境の変化を受け、見直すべき場所もあるのではないか。役場北側の石畑方面へ延びる福3・5・17狭山ヶ岡線など、今後計画どおり進めることは費用対効果を含めて有意性があるのか。

また、今後の道路網の整備には歩行者道の確保とともに、地域的には狭山丘陵沿いなどは、環境、健康の視点からも自転車道の整備を目指しても良いのではないか。

都市計画道路 福3・5・17号線

**町長**　福3・5・17号線は、計画道路上に多くの住宅があり、整備には相当の期間と費用を要するものと予測されるが、将来のまちづくりに必要な人、物、情報が行き交う動脈として広域的に整備を進めるべき路線として、近隣自治体と連携し実現に向けて努力していく。

歩道については、幹線道路の整備に合わせて計画的に行っていく。

自転車道は、現段階では、生活道路の機能維持と都市計画道路の整備を優先すべきと考える。

# 個人情報のセキュリティ対策強化を求める

齋藤　成宏　議員（民主）

**町長**　セキュリティポリシーを定め取り組んでいる

**質問**　個人情報の流出や記録媒体の紛失など、さまざまな事件が頻発している。住民の多様な相談・要望が集積する町役場および教育現場では、一層の個人情報保護の徹底とセキュリティ対策の強化が必要と考える。そこで町長、教育長に次の4点を伺う。

町の情報セキュリティーポリシー

**問①**　役場内の現状について。

**町長**　瑞穂町情報セキュリティポリシーを定め、情報の適正な運用と情報保護に取り組んでいる。

**問②**　チェック体制強化の検討について。

**町長**　個人情報を取り扱う職員を限定し、パスワードを与え、情報漏洩を防止している。

**問③**　教育現場の現状について。

**教育長**　個人情報紛失事故防止チェックシートを活用した啓発に努めている。

**問④**　セキュリティ対策の担当が必要ではないのか。

**教育長**　学校では、教務部を中心に情報担当者などを位置づけ、副校長とともに個人情報に関する管理を行っている。